



### 開成営農経済センターからのお知らせ

今月の注文書等について

「果樹・野菜春肥料」「水稻種子」「水稻苗」

12月の自己取り商品について

「のしもち」12月29日（月）

その他の自己取り商品については、入荷予定が決まり次第、お電話致します。

お米の日

神奈川県産のはるみ玄米を特別価格で販売します。（毎月第2・第4火曜日）  
令和7年12月9日・23日となります。

### 年末年始・営農経済センター・グリーンセンター営業のご案内

○年 末 令和7年12月30日（火）13時まで営業致します。

○年 始 令和8年1月5日（月）8時40分から営業致します。

### グリーンセンター宅配集荷 年末年始の受付日変更のお知らせ

12月の1ヶ月間は、土日および祝日の集荷受付がありませんのでご注意ください。

また、この期間の期日指定・時間指定も取扱できません。

ご不便をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

年内取扱い終了日は令和7年12月25日（木）まで。

年始取り扱い開始日は令和8年1月5日（月）から。

**予告**

## 令和8年2月

## 肥料や農薬の展示即売会を行います！！

～ 詳細は開成営農経済センターだより2月号にてお知らせいたします。～

【う め】

冬季剪定 11月～12月

縮間伐と骨格作りを重視して主枝を配置し、内向枝・平行枝等の切除をします。

※ツボミを傷めないように、年内にノコギリ剪定（太い枝の処理）を終了させましょう。

1月下旬までに細部の剪定作業（整枝・剪定）を終えましょう。1年枝は全部取らず横から出ている弱い枝は残しておきましょう。

病害虫防除 12月下旬～1月上旬（開花前）

○カイガラムシ類・越冬病害虫 石灰硫黄合剤 10倍 10ℓ／水 100ℓ

12月～1月上旬 休眠期（落葉後～萌芽前）

○コスカシバ フェニックスフロアブル 200倍 樹幹部及び主枝に散布 開花期まで1回

【キウイフルーツ】

整枝剪定 12月下旬～2月上旬（樹液の流動が始まる前に終了しましょう。）

一文字整枝を基本に主枝・亜主枝を明確にして、亜主枝は2～3m間隔で配置します。高樹齢樹は樹がいたむため亜主枝の更新は避けましょう。古い亜主枝でも葉数を確保し維持しましょう。

古い側枝（結果母枝）は先追いしないよう、亜主枝、主枝に近づける、切り戻し更新を行いましょう。

結果母枝は、充実した新梢と本年の結果枝を併用し配置します。春の風害を想定し、やや多めに残しましょう。大きい切り口にはトップジンMペーストを塗布しましょう。

病害虫防除 11月下旬～12月中旬

○かいよう病 ICボルドー66D 50倍 2kg／水 100ℓ

土壌管理 11月～2月

土壌改良剤として、苦土石灰の施用をしましょう。 100kg～200kg／10a

【温州みかん】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

収 穫 丁寧な収穫作業と貯蔵の管理を徹底しましょう。

貯蔵みかんの品質のバラつきをなくすため、果実の着色状況に応じて、2回以上に分けて収穫しましょう。

収穫適期を逃して、浮皮果にならないように注意して下さい。

※収穫の目安 ○大津四号 ⇒ 完全着色  
○青島温州 ⇒ 8分色以上

果実管理

通常予措：コンテナ8分目ほどに軽く入れて、通気の良い貯蔵庫下屋等で10～15日間乾燥した空気にさらします。総量の5％程度の減量（しおれ）が目安です。（果皮がややしなびて弾力を持つ程度）

高温予措：着色促進と減酸を目的に、収穫直後に20℃で7日間果実を保温しておく。果実の傷からくる腐れが早いので、再度選果をしてから貯蔵・出荷をしましょう。

貯 蔵

予措終了後、温度3～5℃・相対湿度85％を目安に貯蔵します。朝夕の換気と定期的に点検で腐敗果を取り除きましょう。また、0℃付近になると低温障害をおこすので、寒波時は貯蔵庫を密閉しましょう。

病害虫防除等 収穫後の12月下旬～1月中旬（厳寒期の散布は避けましょう）

○ミカンハダニ アタックオイル 60倍 1.66ℓ／水 100ℓ 又は

○カイガラムシ類 ハーベストオイル 60倍 1.66ℓ／水 100ℓ 又は

スプレーオイル 60倍 1.66ℓ／水 100ℓ

＊ 散布量は10aあたり500～600ℓを目安に、たっぷり散布しましょう。  
（病害虫多発生の主な原因は、密植と薬剤のかけムラです。）

## 【中晩柑】

防寒・鳥害対策のため、袋かけやネット被覆を実施しましょう。園地や品種により差がありますが、1月中旬までには終了するように作業しましょう。

## 【お茶】

### 老朽茶園の改植準備

生産性の向上と良質茶の生産をはかるため、老朽茶園を改植することが必要です。

改植は抜根、天地返し、地ならしを計画的に行いましょう。その場合、石灰窒素をあらかじめ10aあたり80kg程度散布し、有機物の腐植化をはかりましょう。

## 【水稲】

### 土づくり

水稲が健全に生育するために、「堆肥・ワラ等」の有機物やケイカル等の土壌改良剤を計画的に施し、地力を増進する必要があります。

#### ○有機物の施用

ワラの場合 収穫後年内までに全体に広げ、深耕（15センチ以上）しておきましょう。

（必要に応じて、石灰窒素（20kg/10a）を11月末までにすき込み施用すると腐熟が進む）

完熟堆肥の場合 10月から2月に全体に施し深耕しておきましょう。（500～1,000kg/10a）

○土壌改良剤の施用 ケイカル 100kg/10a 又は ようりん等

### 雑草防除 冬季にできる水田の雑草防除

冬季に耕耘することにより除草効果を期待することができます。多年生雑草の塊茎や根茎は低温や乾燥に弱いので、冬季の耕起が防除に有効です。特にミズガヤツリ・クログワイ・オモダカなどの多い水田では反転耕により凍結枯死させられるので除草効果が高くなります。耕耘作業は年内までに一度は必ず行いましょう。

### スクミリンゴガイ対策

管内でスクミリンゴガイ（別名：ジャンボタニシ）の発生が確認されております。寒期（12月～1月）にロータリー耕を行い、貝を掘り起こして寒気にさらすとともに破碎します。作業速度を遅くしロータリーの回転数を高く、浅めに耕うんすると、効果が高まります。発生密度が高い水田では複数回行いましょう。越冬個体が多い水口、水尻、水が溜まりやすい畦畔沿いは、ロータリーが届かないので、鍬等を使い、貝を破碎しましょう。

**※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。**

＜注意＞農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

・「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。（前日は24時間前）

・「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

※店舗により農薬の在庫状況が異なります。記載の農薬を購入される場合は事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。

### 神奈川県 病害虫情報・予報

#### 二次元コード：



URL:[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2025\\_4\\_01.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2025_4_01.html)

### JA かながわ西湘メールマガジン登録

#### 二次元コード：



URL:<https://plus.combz.jp/connectFromMail/regist/ctuh7457>

**水稻栽培講習会の開催について ～来年に向け準備を！～**  
下記のとおり講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。

1. 日時・会場

日 付	時 間	会 場
12 月 15 日（月）	10：00	本店 3 階 第 2・第 3 会議室 （小田原市鴨宮 627）
	14：00	南足柄支店 会議室 （南足柄市関本 675）
12 月 16 日（火）	14：00	開成支店 会議室 （開成町延沢 95）

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員（水稻栽培者）

3. 内 容 （予定 全日程共通）

①来年の栽培に向けて ②病害虫・雑草防除について③その他

4. 講 師 農業技術センター

5. 申 込 12/11（木）までに営農部営農指導課または最寄りの支店・センターまでお申込みください。  
※全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

（お問合せ）

JA かながわ西湘営農部営農指導課

TEL：0465-46-6950

**『農作物被害届』の提出にご協力を**

組合員の皆さまから提出いただいた『農作物被害届』は県や市町に対して対策強化を働きかける根拠となり、補獲活動強化に結び付きます。野生鳥獣による農作物被害があった場合には各支店や各営農経済センターにある『農作物被害届』用紙、または当 JA のホームページから提出をお願いいたします。

JA かながわ西湘ホームページ <https://ja-kanasei.or.jp/member/kumiai/damage>